

日本語版
2019年 第127巻
2月・3月

北見工業大学 国際交流センター ニュースレター



◆目次◆

- ・短期留学生修了式
- ・慶尚大学校工科大学(韓国)との短期交流研修
- ・中国語研修(台湾)
- ・ポーランド協定校での留学生生活報告
- ・北網圏シンポジウム参加
- ・国際交流センター長の退職

短期留学生修了式

2月5日(火曜日)

海外協定校から来ていた短期留学生10名(3カ国)が、お世話になった日本人学生や教職員に見守られ、修了証書を受け取りました。修了生は留学の成果を、感想文とショートムービーで発表しました。



台湾からの留学生チョウ・カショウさんは、「憧れの日本で過ごした半年の留学生生活は夢のようだった。北見は優しい人が一杯で、皆さんが助けてくれた。本当に素晴らしい体験だった。今後、私の大学から後輩が来た時、また皆さんにお世話になりますが、その時はどうかよろしくお願いします。」と話していました。



慶尚大学校工科大学(韓国)との短期交流研修

2月11日～16日(6日間)



北見市は慶尚大学校工科大学のある晋州市と姉妹都市であり、一団は北見市役所を訪問して、副市長と懇談したり、ハッカ記念館でのアロマクリーム作りを楽しみました。学内ではメタンハイドレートや3Dプリンター、ディーゼルエンジンの研究室を見学し、「日本語基礎・日本文化」講義も受けました。

協定校の慶尚大学校工科大学(韓国)から学生10名と引率者5名を招聘して、6日間の交流研修を行いました。両大学の相互理解と友好を深めるために、1999年から隔年でお互いの大学を訪問しています。

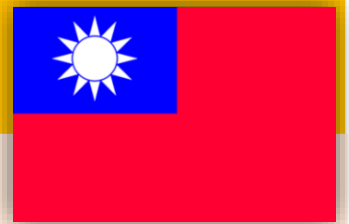


また網走の北海道立北方民族博物館、オホーツク流氷館を見学し、流氷観光砕氷船「オーロラ号」では壮大な流氷の景色に大興奮し、スキー研修では汗をかいて楽しんでいました。互いの理解と友好が深まる、実り多き研修となりました。カムサハムニダ！！



中国語研修(台湾)

中国医薬大学北港キャンパス：2月20日～3月16日



協定校の中国医薬大学北港(台湾)キャンパスで実施した中国語研修には、
本学の日本人学生4名が参加し、中国語学習、文化体験、学生間交流を行って来ました。

地域未来デザイン工学科 2年 中村 薫

台湾研修を通じて、台湾の良さと日本の良さを学びました。まず台湾の良さは人が温かいということです。現地の先生や学生は、初めての海外なうえに中国語もほとんど話せない私を不安にさせないように、わかりやすい英語やジェスチャー、さらに日本語を交えてガイドしてくれました。必ず歩道側を歩かせてくれたり、なるべく好きなものを食べられるようにレストランのメニューの写真を探して説明してくれたりする親切さや、研修先のガイドブックを手書きで作ってくれることに感銘を受けました。

一方、日本人はとても計画性があることに気づきました。台湾では急な予定変更が多々ありました。また台湾の学生に、日本製のものは使い手の身になって作られているから好きだと言われ、改めて日本の工業を誇りに感じました。

台湾で得た「人に親切にする心」を大切に生活したいと思います。また海外で評価を得ている日本の技術を伝承する人間になるべく、勉学に勤めていきたいと思っています。



地域未来デザイン工学科

1年 中島 拓都

もっとも大きな成果は、実際に海外に行き、現地人と触れ合うという機会をもてたことです。私のように興味はあっても行動になかなか起こせないような学生にとっては大きなチャンスでした。またホームステイ先など台湾の方々の心の温かさに触れることが多かったです。親切な方ばかりでした。今回の機会を設けてくれた両大学および新しくできた台湾の友人たちに改めて感謝しています。



ポーランドの協定校に留学中です！

奥山ほのか さん (地球環境工学科) 日

皆さんこんにちは。私は元気に過ごしています！ 1人で留学することによって、最初は緊張していましたが、ルームメイトやポーランド人、授業が一緒の色々な国の優しい友人がたくさんできました。

このようにポーランドの協定校へ留学する機会に恵まれたので、色々なことに挑戦して素敵な1年にしたいと思います！



北網圏国際シンポジウム参加：紋別市

2月17日～18日

紋別市開催の北方圏国際シンポジウムに招待され、本学留学生7人が参加しました。基調講演や研究発表に耳を傾けた後、レセプションでは太極拳、ギター演奏、「紋別の歌」を紋別市長と大合唱するなどしてステージを盛り上げました。翌日は流氷科学センター、アザラシランド、海洋交流館、オホーツクタワーを見学した後、ガリンコ号Ⅱに乗船しました。



韓国人留学生ジョン・ジュンヒさんは「オホーツクのことを学び、寒さを楽しんだ。流氷が本当に素晴らしかった！」と話していました。紋別市の留学生招待に心から感謝いたします。



国際交流センター長 許斐ナタリー先生 お元気で。。

許斐ナタリー国際交流センター長が、この3月で北見工業大学を退職します。8年間に渡り、いつも笑顔で本学の留学生と日本人学生を熱く指導し、温かく見守り続けてくれました。4月からも九州で元気にご活躍ください！



ナタリー先生からのメッセージ

「北見工業大学での8年間はとても楽しい思い出ばかりです。ここで出会えた全ての皆さんに感謝しています。きっとまた、どこかでお会いしましょう！」

ナタリー先生、ありがとうございました！

今後の予定

- ◆新留学生オリエンテーション
4月4日(木) 10:00～ A208教室
- ◆インターナショナル“C”アワー
4月24日(水) 18:00～
コミュニケーションアトリウム

発行所：北見工業大学国際交流センター

住 所：北見市公園町165番地

電 話：(0157) 26-9370

FAX : (0157) 26-9373

E-mail : kenkyu05@desk.kitami-it.ac.jp



北見工業大学